









マテリアリティ

各マテリアリティについては、中長期的に取り組んでいく具体的な取り組み及び指標・目標を設定しており、グループ全体で目標達成に向けて取り組んでいます。

指標・目標の進捗状況についてはサステナビリティ委員会に報告され、達成に向けた施策を検討しています。

提供価値	マテリアリティ	関連する機会とリスク	具体的な取り組み	指 標	目標年	目 標	実績(2024年)
おいしさの喜びと感動をアップデート	 生活者のくらしを向上	機 会 <div>短・中期 外部連携による価値共創</div> <div>中・長期 技術革新によるスペシャリティの創出</div> <div>短・中期 変化の先読みによる競争優位の確立</div> <div>中・長期 デジタル、ディスラプションによる事業基盤改革の推進</div>	●MILABを活用した産官学連携による共創の推進	●MILAB利用者数(ショールーム F's DESIGN COURT含む)	2025年	●7,000人/年 ^{※1}	●4,326人/年
		リスク <div>短・中期 投資を怠ることによる機会損失や競争力の低下</div> <div>短・中期 強固な参入障壁を構築できないことによる多数の競合企業の出現</div>	●食のスタートアップ企業育成	●スタートアップ支援数	2030年	●累計30社、2社上場	●13社
食のライフラインを支え、ゆたかな暮らしへ	 フードロスの低減	機 会 <div>中・長期 食品ロス関連の法規制、ルール強化</div> <div>短・中期 冷凍・解凍技術の発展</div> <div>短・中期 途上国のコールドチェーン構築のニーズ増</div>	●フードロス低減に貢献する技術開発	●製品、サービスを通じたフードロス低減貢献量	2030年	●150,000t/年	●70,042t/年
		リスク <div>中・長期 食品ロス規制等への対応遅延による事業機会損失</div>	●アジアのコールドチェーンの発展に貢献				
	 持続可能なサプライチェーンの実現	機 会 <div>短・中期 資源循環や環境に配慮した製品開発による事業機会の創出</div> <div>短・中期 お客様の満足度向上によるブランドへの信頼獲得</div> <div>短・中期 サプライチェーンの最適化等による新しい価値の創造</div>	●サステナブル調達ガイドライン浸透	●サステナブル調達ガイドラインに沿った調達(アンケート回収率)	2025年	●90% ^{※1}	●89.3%
		リスク <div>短・中期 サプライチェーン上の品質問題発生による部品調達不全、製品回収</div> <div>短・中期 サプライチェーンにおける社会・環境問題への対応遅れによる部品調達不全、企業価値毀損</div> <div>短・中期 自然災害やパンデミック、特定地域の輸出規制への対応の遅れによるサプライチェーンの断絶</div>	●サプライチェーン最適化の推進		2030年	●100%	
			●内製化、強靱化、デジタル化の推進	●スマート診断によるプレメンテナン스実施件数	2025年	●定性評価	●板金／銅管加工の内製化
			●Zero Call Companyの推進		2030年	●3,000件/年	●主要部品の複数購買／適正在庫整備
地球上すべてのいのちをいきいきと健康的に	 健康的な生活への支援	機 会 <div>短・中期 再生医療技術の発展</div> <div>中・長期 健康課題の深刻化、多様化による食生活習慣の見直し</div> <div>短・中期 完全調理済冷凍食品の伸長</div> <div>短・中期 途上国の医療・介護分野の</div> <div>コールドチェーン構築のニーズ増</div>	●再生医療、ヘルスケア領域への多様なアプローチ	●再生医療、ヘルスケア等の新規領域の製品開発	2025年	●定性評価	●メディカルフリーザーノンフロン化
		リスク <div>中・長期 メディカル、ヘルスケア分野における競争激化</div>	●メディカル、ヘルスケアへの貢献	●メディカル、ヘルスケアに貢献する製品、システム、サービス提供件数	2030年	●20,000件/年	●血液用保冷库ノンフロン化
	 脱炭素社会の実現	機 会 <div>短・中期 環境・脱炭素関連の法規制・ルール強化</div> <div>短・中期 環境性能の高い製品へのニーズ増</div> <div>中・長期 ネットゼロに向けた取り組みの推進、お客様との協業</div> <div>短・中期 ブランド信頼獲得</div>	●グリーン冷媒への転換	●加重平均GWP	2025年	●500(内蔵型)	●メディカルフリーザーノンフロン化
					2029年	●1,450(別置型) ^{※1}	●細胞凍結用プログラムフリーザー開発
			●冷媒ガス漏えい防止	●冷媒漏えい量	2035年	●150(内蔵型)	●ノンフロン解凍庫開発
			●環境性能の高い製品を開発・提供	●LCA評価による環境負荷の少ない製品への移行	2030年	●750(別置型)	●主要部品の複数購買／適正在庫整備
			●CO ₂ 排出量削減	●ガリレイグループCO ₂ 排出量削減率	2030年	●0t-CO ₂ /年	●配送センターDX化
				●バリューチェーン全体のCO ₂ 排出量削減への取り組み	2050年	●定性評価	●板金／銅管加工の内製化
世界中の一人ひとりのしあわせに貢献	 地域社会との共生	機 会 <div>短・中期 社員のモチベーション向上や人材育成につながる若年層に広まるESG志向との方向性の一致、人材獲得の機会拡大</div> <div>中・長期 食べる喜びやスポーツの楽しさの提供による企業レピュテーションの向上</div> <div>中・長期 外部連携による事業機会の創出</div>	●ガリレイ1%クラブを通じた社会貢献活動の推進	●ガリレイ1%クラブ活動実施件数	2030年	●2013年比▲50%	●34.9%(9,120t-CO ₂) ^{※2}
		リスク <div>短・中期 企業市民として地域社会に認められない場合は、企業ブランドを大きく毀損</div>	●地域コミュニティや自治体との連携を通して地域社会に貢献	●ボランティア参加延べ人数	2030年	●2013年比▲100%	●エアテック31店舗、エネマネ504店舗(12.0%省エネ貢献)導入
	 人材の育成	機 会 <div>短・中期 定着率向上、技術の確実な継承により確固たる技術力を維持できる</div> <div>短・中期 コールドチェーンを支える人材の輩出による企業レピュテーションの向上</div>	●人材の育成、教育制度の継続的強化	●一人当たり研修時間	2030年	●20時間/人 ^{※3}	●スポーツイベントの暑熱対策協力
		リスク <div>短・中期 人材の育成不足による企業競争力の低下</div> <div>短・中期 離職率の上昇による企業レピュテーションの低下</div> <div>中・長期 グローバルな人材を確保できず、海外での競争力を失う</div>	●ガリレイアカデミー推進・拡大	●技術者養成学校運営による冷熱技術者の育成	2030年	●定性評価	●社会科見学等の教育支援
	 多様な人材の活躍	機 会 <div>短・中期 働きがいの向上による会社の成長</div> <div>中・長期 イノベーションが起きやすい環境づくり</div> <div>短・中期 様々なバックグラウンドを持つ人材の獲得、登用ルートの増加</div> <div>短・中期 社員が心身ともに健康な状態になることで、仕事へのモチベーションが向上し、生産性が向上する</div>	●従業員エンゲージメントの向上	●エンゲージメントスコア全社平均	2030年	●10% ^{※3}	●財団を通じたグローバル人材育成支援
			●人材基盤の多様性確保(女性活躍推進、中途採用拡充、若年層の離職低減、シニア人材活用、外国人登用拡充)	●女性役員比率	2030年	●55%	●自治体地方活性化支援
				●女性管理職比率		●70% ^{※3}	●海外グループ会社の現地社員の管理職比率
			●働きやすい職場環境と多様な働き方の整備	●時間外労働平均時間	2025年	●15時間 ^{※3}	●ガリレイアカデミー卒業生61名/年
※1 今年度、目標を見直しています	※2 第三者機関による検証を受けています	※3 フクシマガリレイ単体	●有給休暇取得率			●63.4% ^{※3}	

※1 今年度、目標を見直しています ※2 第三者機関による検証を受けています ※3 フクシマガリレイ単体